

ミレニアム

| | | |
|------------------|---|------|
| 千葉県医師会 年 紀 | 〒260-0026 千葉市中央区千葉港7-1 ☎ 043-242-4271 | 第16号 |
| | 2005年3月発行 | |



植松日医会長に聴く 医師会が めざすもの



藤森宗徳 県医師会会長

巻頭トーク ②

植松治雄
日本医師会会長

| | |
|---------------------------------|----|
| 世界の医療制度 フランス編() | 5 |
| クローズ・アップ ちば県民保健予防財団総合健診センター | 6 |
| 50年ぶりに改正される「結核予防法」 | 8 |
| 医見拝聴 植松宏行(共同通信記者) | 9 |
| 県医師会のページ | |
| トピックス 第22回県医展ほか | 10 |
| [主張]「混合診療導入反対運動」の成果と今後 鈴木弘祐 | 10 |
| 読者のお便りにお答えします。 | 11 |
| 地区医師会へようこそ「八千代市医師会」 | 12 |
| 家庭の健康アドバイス「スギ花粉症」 | 13 |
| 情報コーナー 展覧会/イベント/コンサート | 14 |
| 愛読者プレゼント 亜土さんの表紙絵入り「目覚まし時計」が当たる | 15 |

千葉県医師会ホームページ

<http://www.chiba.med.or.jp>

植松日医会長に聴く

医師会がめざすもの



植松治雄 日本医師会
会長

藤森宗徳 県医師会
会長

藤森 植松会長は昨年4月に日本医師会の会長に就任され、その後、参議院選挙、世界医師会東京総会の開催、混合診療解禁反対国民運動の展開と、大きな成果を残されました。しかし、医療をめぐる社会環境は相変わらず厳しく、そのような中で日本医師会は今後、何をめざし、何をすべきかについて、お考えを伺いたいと存じます。

植松 まず、昨年末の混合診療解禁反対の国民運動にご協力いただいたすべての方々に、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、650万人を超える署名を国会に提出し、それを強力な背景として所期の目的を果たすことができました。

この国民運動を通して痛感し、再認識したのは、医師会は今後、さらに国民の皆さんと歩調を合わせ、結束を深める努力をすべきではないかということです。その意味で私は、地域住民の方々に最も身近なところで活動をしている都市区医師会、都道府県医師会との連携強化こそが、国民医療の守り手である日本医師会にとって必要不可欠であると考えております。

藤森 植松会長のご提唱で、「国民医療推進協議会」が発足し、それに呼応して私共も県内医療関係11団体からなる「千葉県医療推進協議会」を立ち上げ、署名活動・県民の集い・デモ行進などを行いました。医師会が先導し、医療推進協議会という形で「国民と共に」市

民と共に」をスローガンにした新たな運動母体が全国にできたことは、有意義でした。

植松 そうおっしゃっていただくと、ありがたいですね。この医療推進協議会を大事に育てていくことが、今後の医師会活動の大きなテーマの一つです。

住民の目線に立った地域医療活動

藤森 植松会長は、堺市医師会会長、大阪府医師会会長を歴任された後に日本医師会の会長になられたので、地域医療活動について精通しておられます。しかも、開業医として地域住民の方々と日頃、身近に接して来られました。そういう方がトップになられたことは、医師会のみならず国民にとって心強い限りです。私は、植松会長が堺市の医師会長時代も、大阪府の医師会長時代も親しくお付き合いさせていただく機会がありましたので、お人柄はよく存じ上げているつもりです。特に府医の会長にご就任された時に、これを自分の第二の人生として、診療は縮小して会長職に全力を投じるというお話には感動しました。さらに、日本医師会の会長選挙に出馬された時、診療所を閉院されたのには驚き、心を動かされました。背水の陣で臨まれていると……。

植松 私なりに、はじめをつけたかったからです。日医会長というものは、診療と両立できるほど楽なものではないと思います。



植松 治雄 日本医師会会長

うえまつ はるお プロフィール

大阪大学医学部卒業後、大阪府堺市に耳鼻咽喉科の診療所「植松医院」を開業。堺市医師会会長（1984年～1990年）大阪府医師会会長（1990年～2004年）を経て、2004年4月1日に日本医師会会長に就任、現在に至る。

医師会について言えば、私は日本医師会の会長も、都道府県医師会の会長も、郡市区医師会の会長も、組織の大小の違いはあっても基本的には同じ立場だと考えております。なぜなら、医師会の存立の原点は地域医療にあるからです。その意味で私は、特に地域医療の最先端で活動をしている郡市区医師会と日本医師会との連帯を強固にしたいのです。

藤森 県内には23の郡市区医師会（地区医師会）がありますが、最近は各地区の会長の意識が高まっていることを実感しています。県医師会にもどしどし意見を言っていますし、日本のレベルから議論ができる論客も多く、県医師会の会長だとただ威張っているわけにはいきません（笑）。

植松 私の場合も同じです（笑）。上意下達では事がうまく運ばない時代です。地域医療活動において、医師が心すべきは「地域の方々や患者さんと同じ高さの目線で見えて、考え、発言し、行動する」ことだと思

ます。医師だからとふんぞり返っている、誰も近寄って来ません。診療所から一歩出た時は、普通の「おっちゃん、おばちゃん」で、先生「ではだめです（笑）。肩書きとは関係なく、一人の人間として地域の中で活動をする医師が増えれば、医療や医師会に対する信頼性は自ずと高まります。

藤森 私は小児科医ですが、赤ちゃんでも上から見下ろさないようにして、必ず目線を同じ高さにして診察・治療をすることを心掛けてきました。事を進めようとする場合、威圧感を与えてするのは、あるいは安心感を与えてするのは、相手の受け止め方が違ってきます。医師会活動も同様だと思います。

ところで、植松会長が医学の道に進まれた動機はどんなことだったのですか？

植松 きっかけの一つは戦争中に妹を疫病で亡くしたこと、もう一つは終戦直後に大阪の地下鉄構内でホームレスの方々の死に直面したことです。今のように国民皆保険制度のな

い時代ですから、重い病気になるとお金持ち以外は医療とアクセスできずに、むざむざ死を待つしかなかったのです。

藤森 それを考えると、今の「いつでも、どこでも、だれでも安心して平等に医療を受けることができる」国民皆保険制度は、ありがたい制度ですね。にもかかわらず、小泉政権は財政難を理由に医療費削減、医療への市場原理導入を推し進めようとしています。その行き着く先は、国民皆保険制度の改悪です。

植松 医療は社会共通のもので、市場経済の原理で医療を変えようという考えは、国民皆保険制度を崩壊させます。国民の皆さんは、少ない患者負担で、質の高い医療を求めています。めざす方向は、医師会も同じです。ですから、医師会としてはあくまでも「国民皆保険制度を堅持することが、安全で安心な医療を守ることになる」という主張を貫いてまいります。この態度を崩さない限り、国民の皆さんには必ずご理解いただけ、行動を共にしていただけると確信しております。

”病気を診る前に人を診る” 医師の育成

藤森 現在、千葉県医師会として強くアピールしているのは、「かかりつけ医を持ちましよう」ということです。「かかりつけ医」は有名な医師や大病院の医師である必要はなく、近所の開業医で親身に対処してくれる医師で



あればいいのですが、昔のように親子何代かにわたってお付き合いがあるケースが少なくなり、新たに探すとなると躊躇される方も多いようです。

植松 医師と患者さんの間にも「相性」があります。名医と言われる医師でも気に入らなかつたら、相性の良い「かかりつけ医」が見つかるまで、あちこち訪ねるべきです。不思議なもので、自分が嫌いと思えば相手も嫌います(笑)。

医学・医療が進むと細分化・専門化志向が強まり、その反面、人間存在をトータルに捉える全人的医療が置き去りにされる傾向があります。「医師は、病気を診る前に人を診よ」という至言がありますが、患者さんの病歴はもとより、生い立ち、家庭の状況、生活環境、趣味などの人格を形成する背景を把握してこそ、幅の広い実質的な医療が可能になります。

本来、そうした役割を担うのが「かかりつけ医」です。日本の地域社会は、人間関係や連帯意識が希薄になり、崩壊寸前です。医師会の地域医療活動は、地域社会の再建という面でも大きな意義を持っていると思います。
藤森 近頃、盛んに医療の質の向上ということが言われますが、技術面以上に医師の人格向上も課題ですね。

植松 ええ。医師には、高い倫理性と常識や感性を備えた基本的な人格が求められ、その上に医学・医療がなければなりません。日本

医師会の生涯教育制度も、医学的課題だけでなく、倫理や人間としてのありようを基本的医療課題として取り組んでおります。医学・医療はどんなに進歩しても、要するに「人」なのです。したがって、医師はもとより医療に携わる人は、人とうまく接し、生命を十分に尊重できる人でなければなりません。

藤森 昨年に開催された2004年世界医師会東京総会で、植松会長は「今、医療に求められるもの」と題した講演の中でも、全人的医療の原点は「かかりつけ医」にあると強調されておられたのが印象に残っています。

植松 実は、開催国の医師会長は講演をしないのが原則で、私の場合は例外的に認めていただいたのです(笑)。東京総会には、加盟82カ国医師会のうち41カ国医師会の代表の他、国際赤十字などの国際機関のオブザーバーを含む海外220名、国内300名の参加者が集い、会議・学術集会・各種社交行事を挙行しました。

レセプションには天皇・皇后両陛下のご臨席を賜った上に、わざわざ壇上から降りられて海外の来賓の方々と対話をされておられました。それが陛下からのご希望だったと後で伺って、感動を深めました。

共感を呼ぶ国民運動の展開

藤森 今後の、ご抱負をお話してください。

植松 日本医師会としては、国民の皆さんが共感し、支持していただける、さまざまな国民運動を積極的に展開していきたいと考えております。そのために、会内に各種委員会・プロジェクトを設置し、例えば藤森先生に委員になっていただいている禁煙推進委員会(プロジェクト)は、禁煙キャンペーンで大きな成果を上げています。

さらに、新たに糖尿病対策協議会を発足させました。年間1万3000人も透析患者さんが増え続ける現状では、早急な予防措置を講じる必要性を痛感したからです。このような場合、本来は行政が費用負担をすべきなのですが、財政削減でどうにもならず、日本医師会が費用負担をすることにしました。

政府は相変わらず「改革」を旗印にした施策を実行しようとしています。その改革には人間的な「温かみ」が感じられません。そんな政府に対して私は、社会保障費が膨らむからといって医療費を抑制すべきでなく、むしろ増やすべきではないかと主張してきました。すると、決まって返ってくる言葉は「その財源はどうする?」です。それを考えるのが、政治というものではないでしょうか? だからこそ、国民運動が必要なのです。

藤森 本日は、ありがとうございました。

(於・日本医師会館)

世界の医療制度

10

フランス編()



フランスの医療費支出の内訳は、社会保険からの給付が約75%、自己負担が12~13%、民間医療保険が12~13%となつています。患者の自己負担率は、公立病院の診察料が25~30%、開業医の診察料が30~50%、看護・リハビリ・臨床検査費が40~50%、一般的な歯科治療費が30%です。

通常、入院費の自己負担率は20%ですが、労働災害と認定された場合や、31日以上の長期入院、出産のための入院、そのほか非常に高額な治療費が見込まれる病気については100%の補償がなされ、この場合は前払いする必要はありません。

しかし、これは保険協定医の診療を受けた場合であつて、非保険協定医の診療はこの限りではありません。薬の自己負担率は、薬の種類によつて35%、50%、65%など幅があります。

被保険者が持つICカード「ビタル」

フランスでは、国民の99%が公的医療保険を受ける一方で、同時に国民の85%が民間保険に加入しています。

民間保険には、主に診察料の自己負担を補填する保険のほか、個室を利用するといった入院時の選択肢を広げるための保険や、「義歯・眼鏡・コンタクトレンズ」の自己負担分をカバーする保険など、様々な種類があります。

フランスでは、自己負担分の診療費を支払うだけでよい日本とは異なり、患者がはじめに医療費の全額を立替払いするのを原則としてきました。このシステムは、実際いくら医療費がかかったかを患者自身が知ることになり、無駄な診療を控える医療費抑制につながる効果があると言われています。しかし、その反面、患者自身が書類に細かく必要事項を記入し、社会保険事務所に郵送し、後日還付金を受けるといふ、煩雑で手間のかかるシステムでした。

そこで、1999年の改革により、すべての被保険者は「ビタル」というクレジットカードカードほどの大きさのICカードを持つようになりました。このカードを病院の窓口にあるコンピューターの端末に差し込むだけで、すぐに診療内容や料金がわかります。また、還付金も自動的に

指定の銀行口座に振り込まれるようになり、手続きは非常に簡略化されました。

ところが、2005年になって4800万人の被保険者(16歳以上が対象)に対して、実際には5800万枚のカードが発行されていることが発覚し、大問題となりました。今後はカードの不正発行はもちろぬ、診療に無駄がないか、薬の投薬は適切になされているかなど、細かなチェックがなされるようです。

また、フランスは薬価が低いにもかかわらず、薬剤費が総医療費の20%弱を占め、ヨーロッパ第一の薬剤消費国です。政府はその原因を調査し、薬の過剰利用を抑える必要にも迫られています。

最大の問題は、公的保険の赤字をどう埋めるかで、1990年代に入って政府は医療供給側への医療費抑制政策や、患者の自己負担率を引き上げるといった政策を実施しました。

そのため1990年代末には医療費支出が鈍化しましたが、これは一時的な現象だと考えられています。というのは、1990年に420万人であった75歳以上の人口が、2020年には600万人に達すると見込まれているからです。

今後は、日本と同様、高額な医療費が必要な老人の増加が、フランス最大の医療問題となりそうです。

片野 優

(ジャーナリスト・在ヨーロッパ)

ちば県民保健予防財団 総合健診センター



1月27日、千葉市美浜区新港に財団法人ちば県民保健予防財団ビルが落成しました。このビルには、財団事務局と集団健診部門、検査部門および診療部門からなる総合健診センター（略称・ちば総合健診センター）があり、「最新鋭の設備」「高度な専門スタッフ」「ゆったりとしたスペース」で質の高い医療サービスを提供しています。同財団と、センターの主な機能をご紹介します。

充実した設備で県民の健康を強力にサポート

財団法人ちば県民保健予防財団（理事長・藤森宗徳県医師会会長）は、平成15年4月、県内で健康管理事業を行ってきた財団法人結核予防会千葉支部、財団法人千葉県対がん協会、財団法人千葉県予防衛生協会および財団法人千葉県医療センターを統合して発足しました。

同財団の事業の目的は、600万県民の健康およびQOL（生活の質）の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療を行うことにあります。また全国組織である結核予防会、日本対がん協会、予防医学事業中央会、日本寄生虫予防会の各財団法人の千葉県支部を兼ねています。

新しいビルは、利便性の向上のため、それまで分散していた施設や機能の集約を目的に計画されたもので、敷地面積1万6300㎡に鉄筋コンクリート一部鉄骨造りの地上6階建てです。災害時対策として、人や建物だけでなく高度な精密医療機器などを守り、継続して診療活動ができるように、ビルを支える基礎構造に免震構造を採用しています。

男女の性差に配慮した施設と機能

ビルの1階～3階を占める、ちば総合健診センターは、同財団が長年培ってきた結核、がん、生活習慣病、感染症などの専門性を結集した施設で、専門医を中心とした迅速かつ的確な診断と、適切な診療に力を注いでいます。

診療部門は、従来の結核予防センター、がん検診センターおよび予防医療センターの機能を統合し、多様化、高度化する健康に対するニーズにきめ細かに対応するため、総合健診機関としてスクリーニング検査および精密検査に必要な最新の医療機器が整備され、施設内のIT（情報技術）化が実現されています。

センターの大きな特徴の一つが、女性外来（3階）、女性専用人間ドック（2階）が設けられていることです。また乳腺外科の拡充、男女別の待合室の区分など、性差にも配慮した施設と機能が充実しています。

さらに併設の講堂は、視聴覚機能を持つ多目的スペースとして、公開講座や学会などの行事に使用されます。

施設と事業の概要

安心快適な健診、人間ドックスペース

センター内は、明るくたつぷりとしたスペースが確保され、検査や診察の順序に合わせたフロア配置のため、初めての人にも受診しやすくなっています。

最新鋭の医療機器と高い技術で健康管理を支援する「人間ドック」は、基本コースに加えてオプションを多数用意し、希望に応じた受診できる総合的なシステムです。

1階が男性ゾーン、2階が女性ゾーンです。女性専用人間ドックは、3階の女性外来と同様に、経験豊かな女性スタッフによる快適な受診環境で、利用者の心理的負担の軽減が図られています。

がん精密検査は完全予約制で土曜日も実施

2階～3階の「専門外来」では、疾病の早期発見および確定診断までを迅速に行い、インフォームド・コンセントに努めています。ここでは、各種がん・乳・甲状腺・胃・子宮・大腸、呼吸器、小児



循環器、肝・胆・膵臓の各疾患についての専門医による診療が行われています。

6階
総務部門
企画部門

5階
渉外部門
集団健診部門
判定部門

4階
検査部門

3階
専門外来
内科
呼吸器
循環器
消化器
(肝・胆・膵)
女性外来

2階
専門外来
消化器
(食道・胃腸)
乳腺・甲状腺
婦人科
人間ドック
(女性ゾーン)
画像診断部門

1階
総合受付
事務受付
人間ドック
(男性ゾーン)
健康診断部門

各種保健事業で健康づくりに貢献

また就職および受験等のための「個別健康診断」、健康診断後の事後措置として生活習慣の改善に向けた「健康相談」、女性のための「健康相談」、乳幼児に対する「BCG接種」やその他の「予防接種」を行っています。

さらに生化学および血液検査等の一般検査などの各種「検体検査」のほか、県および千葉市からの委託事業として、先天性代謝異常症等検査、「細胞診・病理組織検査」、事業所や団体などの委託による各種検査、環境測定「や」情報処理等受託及び回転「などの事業を実施しています。

ちば総合健診センターの事業展開は、「巡回健康診断」として施設外にまで及んでいます。

市町村と一体になって実施している結核検診、老人保護法に基づく基本健康診査、各種がん検診などの「地域保健事業」。県下全域を対象に実施



マンモグラフィ検診車「コスモス5号」

されている学校保健法に基づく検診・検査や児童・生徒・学生・教職員の疾病予防を目的とした各種健康診断および検査などの「学校保健事業」。働く人を対象とした健康診断、精密検査、事後指導などの「産業保健事業」。

千葉県保健医療行政を支える総合機関としての同財団の今後が、大いに期待できます。

巡回健康診断、一般検査等に関するお問合せ
〔業務部(渉外課)〕
043(246)0265 FAX. 043(246)8653

人間ドックのご予約
〔診療部〕
043(242)6131 FAX. 043(246)8694
電話受付時間 平日8時30分～17時

診療に関するお問合せ
〔診療部〕
043(246)8664 FAX. 043(246)8694
<http://www.kenko-chiba.or.jp>

財団法人 ちば県民保健予防財団

千葉県美浜区新港32-14

043(246)0350

交通 JR京葉線「千葉みなと駅」より徒歩約17分。路線バスご利用の場合は、JR総武線「千葉駅北口」23番バス停またはJR京葉線「千葉みなと駅西口」バス停から「ちば県民保健予防財団」行で終点下車をご利用ください。

4月1日から「結核予防法」が改正されます。

今回の法律改正は、50年ぶりの大改正とされています。結核は今、高齢者や大都市などに偏在化しており、個別に対応しなければならぬ難しい問題が山積しています。健診(胸部X線検査)やBCG予防接種の見直しは、発病をすると重症化しやすい乳幼児や、ハイリクス病を患う患者への対応を強化するための方策です。また、BCG予防接種は4月以降、生後6カ月以降の乳児については、公費による接種対象にならなくなりました。詳しくは、お住まいの市町村予防接種担当課へお問い合わせください。

結核定期健康診断

【現行】

16歳に達する日の属する年度
前記で治癒を指摘された者は、
17歳に達する日の属する年度
18歳に達する日の属する年度
19歳に達する日の属する年度以降毎年度

改正後

| 市町村が地域の実情にて定める者 | 市町村の住民 (市町村が必要でないことを認める者以外) | 学校、病院、診療所、助産所、老健施設、社会福祉施設の従事者 | 刑務所の入所者 | 社会福祉施設の入所者 | 高校以上の学生 |
|-----------------|--------------------------------|-------------------------------|----------|------------|---------|
| 市町村が定める時期 | 65歳以上毎年度 | 毎年度 | 20歳以上毎年度 | 65歳以上毎年度 | 入学時 |

BCG予防接種

【現行】

4歳までの者のうちツベルクリン反応が陰性であった者に対して実施

改正後

早期接種の重要性により、ツベルクリン反応検査(ツ反)を廃止(平成16年6月告示の法改正で決定)。生後6カ月までに、ツ反を省略したワクチンの直接接種

社会福祉施設：

救護施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、身体障害者療護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設、知的障害者福祉ホーム、知的障害者通勤寮、婦人保護施設

「結核予防法」改正の背景について



財団法人ちば県民予防財団
常務理事・診療部総括診療部長
鈴木 公典

昭和26年と平成15年の結核の状況を比較すると、新しく結核になる人は約59万から約3万と19分の1に、亡くなる人も9・3万から0・23万と40分の1に劇的に改善しました。

しかし、昭和50年代頃より、それまで順調であった改善の速度が鈍くなりはじめ、平成9年には結核は増加し、10、11年と連続して悪化しました。平成12年からは改善しつつありますが、横這い状態と言えます。

さらに、平成12年度に実施した全国調査結果からも、人口の高齢化の進展に伴い、昔は若者に多かった結核が現在では高齢者やハイリクス者に多くなり、治療が十分できなくて結核になる率が非常に高い地域が偏在し、薬の効かない結核菌が出現したり等々、新たな問題があることが明らかになっています。これらに対して、根本から解決していかないと結核は現在、さらに将来的に深刻な状況になると考えられました。そこで、50年前と現在の結核と結核対策の状況を十分に分析し、現在の状況に合った対策を行うために、最近の予防・医療に関する知見も生かし、昭和26年以来約50年ぶりに「結核予防法」が改正されることになりました。

医見拝聴

「医をめぐる不信と信頼」

共同通信社千葉支局

植松

宏行

私は今、1カ月に1度、通院している。持病の経過観察のためだ。

通い始めたのは今から4年前。そのときは医療費は2割負担だったと思う。2割負担が3割負担になったとき、「こんなにかかるのか」と驚いた。つぎは介護保険料が徴収されるようになり・・・将来は5割負担か？ 今後も負担が軽くなることはなさそうだが、仕方がない。

私は生まれてから今までに1度しか献血したことがない。

献血をしたのは高校生の時。友人の父親ががんになり、手術用の血液が不足したのだ。1回400cc。そのとき1度だけだ。そのときは友人の力になれたのがうれしかった。

今、私は見知らぬ人のために献血する気持ちはないが、今後も献血をしないというわけではない。私の知人が私の血液をもとめているなら、喜んで献血に応じるだろう。

私の医療制度に対する不信がなかなか消えない。「栄養剤がわりに輸血していた」という噂、エイズや

ウイルス性肝炎などの血液製剤をめぐるトラブルでの対応、医療事故での病院側の説明不足など見れば見るほど不信感が煽られる。もつともマスコミの取り上げ方にも問題があるかもしれないが。

少子高齢化が急速に進み、まもなく人口減少時代が到来する。患者は増え続け、医師の負担も増え続けるだろうが、そのとき医師や医師会は何をできるのか。それとも何もできないのか。はつきりしているのは、次第に医者にかかりにくくなるということだろう。

私の主治医への信頼感は極めて大きい。彼は私よりかなり若い私の病状について毎回きちんと分析、丁寧に説明し、こちらの疑問にも適切に答えてくれる。主治医が治療方針を説明し、私も一定の知識をもち、一人で方針を決めている。

私の父が生死をさまよった昨年、迅速な対応で命を救っていただいた若い医師は、その後の治療過程もきちんと説明してくれ信頼できた。取材を通じて知り合った医師のほとんどは信頼できる医師だった。

信頼できる医師はこんなに多いのに。なぜ不信感が消えないんだろう。

千葉県医師会健康宣言

みんなが高めるいのちの価値

千葉県医師会は、こんな活動を推進しています。

地域連携

地域に開かれた医師会として、患者さんの団体やボランティア団体、行政との連携をさらに深めます。

情報公開

患者さんと医師との一体感を強める情報公開につとめ、IT時代にふさわしい医師会をめざします。

新世紀の医療へ

高齢化社会に対応して新しい健康価値観の創出、環境や生態系との関わりを考慮した医療を追求します。

トピックス

財団法人ちば県民保健予防財団
財団ビル落成式典

1月27日、千葉市美浜区に財団法人ちば県民保健予防財団のビルが落成し、落成式典が挙行されました(本誌6P〜7Pを参照)。式典の前に、招待者のための施設の見学会があり、明るくゆたかりしたスペースのフロア、最新鋭の医療機器が充実した施設に、感嘆の声が上がりました。落成式は午前11時開会で、同財団理事長の藤森宗徳県医師会会長の挨拶、山口忠則県健康福祉部長・皇正利厚生労働省千葉労働局長・藤澤武彦千葉大学医学部附属病院長・鈴木弘祐県医師会副会長の来賓祝辞、来賓紹介の順で行われました。



その後、会場をオークラ千葉ホテルに移して落成披露パーティーが催されました。堂本暁子県知事は挨拶の中で、センターが女性外来、女性専用の人間ドックを設けていることに触れ、次のように述べられました。

『平成13年、都道府県立病院として、全国ではじめて県立東金病院が開設した、女性専用外



来』は、今では県内の県立3病院、公立・民間7病院の合計10病院に拡大しています。さらに、本県の取り組みは、わずか2年足らずの間に42都道府県に広がり、現在、全国で250カ所を超える女性専用外来が開設されています。

地方自治体から発信した施策が全国に広がり、国の施策として位置付けられるようになり、た事例といえます。今後は、男女の性差に基づいた、より良い予防法、診断法、治療法を確立し、女性にも男性にも良質な保健医療サービスができるよう取り組んでいきたいと考えております。』

第二十二回県医師会美術展

年頭恒例の第二十二回県医師会美術展(県医展)が、1月18日から23日まで県立美術館(中央区)で開催されました。

出品作品は洋画29点・日本画8点・版画1点・彫塑2点・工芸9点・書9点・写真44点の計102点でした。ご来場いただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。

出品作品は洋画29点・日本画8点・版画1点・彫塑2点・工芸9点・書9点・写真44点の計102点でした。ご来場いただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。

主張

鈴木 弘祐
(県医師会副会長)

「混合診療導入反対運動」の成果と今後

昨年10月、国民皆保険制度を守る国民運動の推進母体である国民医療推進協議会 会長 植松治雄(日本医師会会長)が、混合診療導入反対の署名運動を全国的に展開し、皆様の絶大なご協力を得て650万人余の署名を集めることができました。この場を借りて、ご協力に対し深く感謝申し上げます。少しくその後の経過を述べますと、11月30日に、混合診療解禁反対・国民皆保険制度堅持の要望書と署名簿を国会に届け、衆・参両院議長に請願しました。その結果、規制改革担当相と厚生労働相との間の合意内容を受けて、政府の諮問機関である規制改革・民間開放推進会議が小泉首相に提出した第1次答申では、医療・介護関係の重要検討事項として、

混合診療の解禁、医療法人を通じた株式会社等の医療機関経営への参入、中央社会保険医療協議会(中医協)の見直し、医療計画(病床規制)の見直し等、医薬品の一般小売店における販売等、施設介護サービスと在宅介護サービスの三元化の6項目が挙げられており、このうち、混合診療の解禁については、まず、現行制度の枠組み(特定療養費制度の見直し)に対応し、今後は、特区の活用も視野に入れ検討する。ことになり、首相が指示し推進会議が強行しようとした混合診療全面解禁は回避

読者の

お便りにお答えします。

医師会へのご質問は中綴じの「はがき」をご利用ください。なお、個別の病気のご質問には応じかねますので、ご了承ください。

Q 初期研修修了後の若手医師の進路について教えてください。

A 平成16年度より開始の卒後臨床研修新制度は、何科に進路を進めても今後の医療に対応できるよう、卒後のフレッシュな時期に医師の基本的な技能や姿勢を身に付けることが目的となっており、逆を言えば、今までの医師の研修制度は卒後すぐに専門性の強い分野での研修が始まることから、それらの基本的な問題に十分な教育がなされなかったという反省に基づいています。

新制度では厚生労働省認定の研修病院で研修することが義務づけられており、修了しない者は、開業ができないなどの制限が付きます。その研修病院で2年間の研修修了後、今の医療の状況からは専門的な研鑽がどうしても必要になります。

で専門研修とついでになります。その専門研修については、自分の目指す専門分野について、大学病院など専門研修にふさわしい病院を各自が選択して受けることとなります。

実際にはあと1年以上先になりますが、専門研修の具体的なカリキュラムや内容については今後多くのところで出されることと思います。また、耳鼻科や眼科などはそのまま専門研修になります。内科や外科についてはその後、専門分化されず、内科や外科なりの総合的な研修を用意するところもあります。

大学病院では平成18年度までの2年間医局への入局者がいないため医局員不足で大変なところが多く、卒後臨床研修修了者がいかに多く入局してくれるかが死活問題となっているところもあるようです。石川 広己(県医師会学術情報システム担当理事)

Q 学校医は誰が任命し、どんな活動をしているのですか？

A 学校医とは、「学校保健法」によって任命される医師(内科、眼科、耳鼻咽喉科)のことです。他に学校歯科医、学校薬剤師がいます。学校医の任命機関は、県立学校は県教育庁、市町村立学校は当該教育委員会、各地区医師会の推薦を受けて任命します。任期は2年です。

学校医の主な職務・日常活動について列記します。参考としてください。

1-1 主な職務

- 児童・生徒の定期健康診断
- 臨時・就学時健康診断
- 予防接種

2-1 日常活動

- 救急措置
- 保健衛生・感染症の管理指導・改善
- 学校職員の健康管理
- 学校保健委員会の充実
- 校内における児童・生徒の急病、外傷などの的確な指示
- 修学旅行・運動会等課外授業の疾病個別児指導
- 小1、中1、高1等の心臓検診
- 小1〜中3の結核健診
- 校内・外感染症の現況把握と予防措置
- 校内保健委員会、学外学校保健会に参画指導及び講演

宮地 直丸(県医師会学校保健担当理事)

され公的医療保険の基本的体制は崩壊を免れませんでした。しかし、混合診療特区を突破口と考える推進会議議長は、特区制度のあり方を見直す意思を表明しており、この問題は今後なお、紆余曲折が予想されます。

一般の方々としては、自分の「T」に入らぬ医療が保険診療と併用して自費で自由に受けられたら便利と受け止められるかもしれませんが、高度な先進医療や国内未承認の薬剤から「T」の日常医薬品販売に至るまで、有効性や安全性よりも効率性を優先して提供する仕組みの危険性も重要視すべきで、これらの技術や薬剤を迅速に医療保険に適応させる仕組みなどを考えるべきです。

混合診療解禁により公的医療保険から自由診療への移行が漸増し、個人負担が増えるがゆえに公的医療費の節減となるわけですが、自費受診では個人が支払える額に限界があり、民間医療保険会社を創設し、第二医療保険として加入を促す図式が考えられ、市場原理主義者が医療を100兆円市場と考える根拠がつかえます。

小泉内閣の社会保障制度改革は財政面だけが重視されており、日本の国民医療費が高過ぎるということで、アメリカと社会基盤が大きく異なる日本の医療分野に市場原理主義を導入しようとする考えは、国民に大きなダメージを与えるだけに終わるのではないかと危惧します。

日本は近々、「国民の命と健康の値段」が先進国の安値になること確実とも言われています。国民1丸となつて、不条理な社会保障制度改革は是正する必要があると考えます。

「健康メモ」放送予定

NHK千葉放送局のFMラジオ番組「ひるどき情報ちば」(11時～12時)内で放送(周波数:千葉80.7/銚子83.9/勝浦83.7/館山79.0)。放送テーマ、出演医師は変更になる場合があります。なお、第1火曜日は歯科領域がテーマとなります。

4月12日(火)

初夏に多い病気と漢方治療
秋葉 哲生医師
(あきば病院理事長)

4月19日(火)

不整脈と言われたら
関谷 貞三郎医師
(関谷医院院長)

4月26日(火)

腎不全
鈴木 満医師
(東葛クリニック病院名誉理事長)

5月10日(火)

胃・十二指腸潰瘍
森下 鉄夫医師
(東京歯科大学市川総合病院内科部長・教授)

5月17日(火)

紫外線による皮膚疾患
石地 尚興医師
(東京慈恵会医科大学附属柏病院皮膚科診療部長)

5月24日(火)

気管支喘息 (予定)

千葉県内医療施設
検索サイトのご紹介

医療施設検索サイトは、以下のQRコードからブックマーク登録ができます! ぜひ、ご利用ください。

<http://www.chiba-1.med.or.jp/medicaldb/i/>



日 時 4月16日(土) 14時～17時(13時受付開始)
会 場 千葉大学けやき会館(中央区亥鼻1-8-1) 大学構内のため、お車での来場はできません。
対象者 一般の方(無料・定員320名)
基調講演 「睡眠と健康」 快適な睡眠のための7箇条」 高橋清久(藍野大学)
講 演 「宵っ張り朝寝坊がなおせない若者達」内山 真(国立精神・神経センター精神保健研究所) / 「高齢者の睡眠」三島和夫(秋田大学医

市民公開講座

健康な睡眠

あなたと社会のために

主 催 千葉県・千葉市 新世紀ちば健康プラン推進協議会・日本医師会千葉県医師会千葉市医師会
後 援 日本学術会議呼吸器学連絡委員会 千葉県・千葉市 新世紀ちば健康プラン推進協議会・日本医師会千葉県医師会千葉市医師会
【お問合せ】お申込み市民公開講座事務局 担当 松宮(043)226)2557 7 043)226)2176

Q 医師の技術向上のための支援体制はどうなっているのでしょうか?
A 今の時代は、「医師のプロフェッショナルとしての力量」を鋭く問われる時代であるという認識を持っています。それはどの世代の医師においても同じであり、卒後の初期研修や、医師になってからの専門性の維持など多岐にわたっています。また、単なる技術的な問題だけでなく、医師の場合には人と人のコミュニケーションの問題、倫理観や人間性の問題についても一定の研鑽が必要になります。従って医師の技術向上を支援するということは、大変難しい問題であると同時に、県の医師会などが正面に据えて行わなければならない課題であると思われれます。今までも生涯教育の観

点から日本医師会では生涯教育の制度を設けて一定の基準を達成した場合に認定証などを付与しております。その制度をさらに広げて、県医師会でも各地の学術講演会に旺盛に取り組み、各科医学会などを援助し、専門性の追求を支援しています。また、平成17年度より、インターネットを利用した医学講座を会員向けに計画しております。今まで学術講演を聴きに遠方の会場まで行かなければならなかったのを「コンピュータの前に座ってパッドを入力すれば講演が視聴できるようにになります。また、短い時間しかなくても、途中で視聴をやめても、次に開けたときには続きから視聴できます。さらに医師会員に使いやすい、要求に応じたものを計画していきたいと考えています。石川 広(県医師会学術・情報システム担当理事)

地区医師会へ
ようこそ

16

八千代市医師会



医師会事務局
八千代市ゆりのき台2-10
急病センター内
☎ 047(482)4722



杉岡 昌明会長

さらに、創立時の「スローガン」地域愛に手をうなぐ八千代市医師会を推進し、市民の皆様が満足出来る地域医療を目指して頑張りたいと思います。

八千代市は人口増加率が高く18万人を越える。当医師会も現在会員数1600人を越えるほどになりました。去年の9月には、八千代市医師会創立三十周年記念式典を挙げていただきました。理事と事務局の手づくりの式典でしたが、多数のご来賓の方々より、激励・助言を頂き、今後の医師会活動に役立てたいと思います。現在は、来年12月に東京女子医科大学附属(仮称)八千代総合医療センターの開院を目指し、杉岡昌明会長のもと、当医師会と大学と八千代市が協調し、特に小児救急医療及び周産期母子医療を充実する為に邁進しています。

<http://www.chiba.med.or.jp/yachiyo/>

スギ花粉症

我国にスギ花粉症が初めて登場したのは、1964年(昭和40年)のことでした。それから40年がたちた今日、10人に1人がこれに悩まされるという国民病のようになっていきます。スギ花粉のつき方は前年夏の気温と日照時間に左右されると言われますから、今年は相当地い人が多いと予想されます。

病人はいらいら感を少しでも軽減しようとしてマスクをつけたり眼鏡をかけたりますが、この疾患は環境の他に遺伝要素も関わっているのです。これだけで予防することは困難で効果も不十分です。ひどくなると顔面皮膚までがザラザラして痒くなりますが、残念ながら根本的な治療法はまだありません。その時々症状を抑える対症療法が主で、後は原因花粉の飛散がなくなるのを待つというのが現状です。初期にはくしゃみや鼻水、眼のそう痒感が主ですが、時が進むとこれに鼻閉が加わってきます。

治療はまず、局所点鼻点眼薬や内服薬を使用します。スギ花粉は他のカモガヤ、ブタクサに比べるとたちが悪く、一般の抗ヒスタミン剤あるいは抗アレルギー剤では効果があがりません。これに少量のステロイドホルモンを加

大量花粉前線・接近中！ 急いで予防!! 早めの治療!!!

今春は、全国的に観測史上1,2位を争う多さの花粉量が予想されています。花粉症の方は重症化が、花粉症でない方も発症する可能性が指摘されています。

鼻のムズムズ・・・ 目の痒み・・・
花粉症かな?! と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

発症や重症化の予防効果が期待されるのは・・・

「マスク」や「眼鏡」の着用 「うがい」の励行



玄関口での「服たたき」

「洗顔」「手洗い」の励行

千葉県の花粉尘情を調べるには・・・

千葉県アレルギー相談センターのホームページで
<http://www.pref.chiba.jp/sc/2677>

関東地方の花粉尘散情報は・・・

環境省花粉観測システム(はなこさん)のホームページで <http://kafun.nies.go.jp/>

花粉症などのアレルギー疾患に関するご相談は・・・

千葉県アレルギー相談センターへ ☎ 043 223 2677
月・水・金曜日(祝日を除く)の9時～17時(12時～13時を除く)
または、各健康福祉センター(保健所)へ

千葉県医師会「健康ひろば千葉」

<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/>
携帯サイト <http://www.chiba.med.or.jp/kenko/i/>



えたものが必要となります。ステロイドホルモンの副作用については多くの方が恐怖心を抱いています。点鼻薬に含まれる程度の量なら問題ありませんし、内服薬も花粉飛散期間に限るならば心配ないと考えられています。ただし低学年児童、免疫不全症、結核、糖尿病、骨粗しょう症、消化管潰瘍、緑内障を合併している場合には話は変わり嚴重に注意しなければなりません。鼻閉もひどくなると

くると点鼻薬も効かなくなってきました。このような時、耳鼻科医はガーゼに血管収縮薬を浸して、これをピンセットで鼻腔に挿入することで対処しています。スギ花粉症の根本的治療については多くの研究者が努力を重ねていますが、実用までにはしばらく時間がかかるでしょう。

健康教育委員会

寺尾 彬 寺尾耳鼻咽喉科院長

○ 展覧会 & イベント ○

千葉市美術館

義経展 ～源氏・平氏・奥州藤原氏の至手～
4月5日(火)～5月15日(日)

本展はNHK大河ドラマ「義経」の放送と連動して各地に残る源義経ゆかりの遺品や、主要な合戦場面を描いた絵画、同時代に生きた人々の肖像画や書、平清盛が奉納した国宝「平家納経」などの美術工芸品などで構成し、若きスーパースター「義経」の足跡を東西にたどる展覧会です。



魚屋北溪「五葉橋の生若丸」
江戸時代 千葉市美術館蔵
4月5日～24日展示



国宝「源義経自筆書状」
和歌山・高野山金剛峯寺蔵 5月3日～15日展示

観覧料 一般1,000円、大高生700円、中小生300円
開館時間 10時～18時(4月29日を除く金曜日は20時まで)・入館受付は30分前まで
休館日 月曜日
043(222)2311

国立歴史民俗博物館(佐倉市)

企画展示 **東アジア中世海道**
海商・港・沈没船

5月22日(日)まで
12世紀から16世紀のアジアの海を舞台にして中国・高麗・朝鮮・日本・琉球などの国や地域、人々が相互に影響を与えながら育んだ交流の歴史と文化の煌めきを、考古文献、美術、民俗資料などで多様な展示品を通して描きます。

入場料 一般1,200円、大高生800円、中小生400円
開館時間 9時30分～17時
入館受付は30分前まで
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
043(577)8600 ハロウダイヤル

川村記念美術館(佐倉市)

ハンス・アルプ展
4月5日(火)～6月26日(日)

ハンス・アルプ(1886-1966)は彫刻家、画家、詩人として知られる20世紀美術史上最も独創的な芸術家の人です。この展覧会は、代表的な彫刻、絵画、レリーフ、コラージュなど約180点を紹介します。日本では20年ぶりの大規模な回顧展です。

入館料 一般1,200円、大高生および70歳以上1,000円、中小生400円
開館時間 9時30分～17時
入館受付は30分前まで
休館日 月曜日(ただし5月2日は開館)
043(498)2131

県立総南博物館(大多喜町)

大河内松平家資料展
4月17日(日)まで

大多喜城主大河内松平家ゆかりの資料を展示します。
入館料 一般2,000円、大高生1,000円、65歳以上・中小生以下は無料
開館時間 9時～16時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
0470(82)3007

幕張メッセ(千葉市)

第56回 結核予防全国大会 in ちはら
4月26日(火) 大研鑽集会 13時30分～16時50分
コンベンションホール
4月27日(水) 大会式典 10時～12時30分
コンベンションホール

【問い合わせ先】

県健康福祉部健康増進課
043(223)2665
Pet博2005
4月29日(金)・祝日(5月5日)木・祝日

世界のペットの展示と関連商品販売。
入場料 1,200円 主催者 実行委員会
06(635)27949
幕張メッセ **フリーマーケット2005**
5月3日(火)・祝日(5日)木・祝日

日本最大級のフリーマーケットと各種イベント
グルメコーナー。
主催者 実行委員会
043(296)9211

千葉県文化会館(千葉市)

シャンソンおもしろサロンコンサート
6月25日(土) 14時開演

千葉市内で活躍されている市野由美子、大原ひさのりさんの軽快なおしゃべりと歌をお楽しみいただけます。ゲストはシャンソン歌手の山越愛子さん。
入場料 1,000円(全席自由) 定員 252人
【お問合せ先】 043(222)0201

千葉県文化振興財団

平成17年度の事業
千葉県文化会館(千葉市中央区)
043(222)0201

小椋 佳 歌談の会
日時 平成17年9月2日(金)18時30分開演
入場料 S 4,500円 A 3,000円



チェコ国立ブルゼーニョ歌劇場

ボヘミアオペラ「カルメン」
日時 平成17年10月2日(日)15時開演
入場料 S 1,200円 A 1,000円
B 800円

及川浩治「アノリサイタル 愛の夢」
日時 平成17年11月4日(金)18時30分開演
入場料 S 3,000円 S学 2,000円
A 1,000円

曲目 リスト ハンガリー狂詩曲第2番/愛の夢 第3番 ショパン ノクターン第5番 Op.15.2 英雄水口ネーゾ Op.53 トヴュッシー 亜麻色の髪の乙女/月の光 ラフマニノフ ピアノソナタ第2番 Op.36 他

川本喜八郎の創作人形による人形劇

「南総里見八犬伝」
日時 平成17年11月20日(日)11時/15時開演
入場料 全席自由 3,000円

川中美幸コンサート
日時 平成17年11月26日(土)14時/18時開演
入場料 S 6,000円 A 5,000円
B 3,000円
ファミリーシアター

「しまじろうといっしょにあそぼう」
「しまじろうのみのだぼうけん」
日時 平成18年1月29日(日)12時30分/15時開演
入場料 全席指定 1,300円
千葉県少年少女オーケストラ
10周年記念定期演奏会

「ベートーヴェン交響曲第9番(短調)合唱付き」
日時 平成18年3月26日(日)14時開演
入場料 全席自由 1,000円
指揮 現田茂夫
合唱 神奈川フィルハーモニー合唱団
日韓友情年2005記念事業

「千葉県少年少女オーケストラ韓国公演」
平成17年8月20日(土)高陽市
8月21日(日)ソウル市
県内団体・企業個人の方々からの寄付をお願いいたしております。詳しくは財団法人千葉県文化振興財団 043(222)0077まで
喜葉の森公園芸術文化ホール(千葉市中央区)
043(266)3511

サンリオドリムムコンサート
日時 平成17年8月20日(土)11時/14時開演
入場料 S 2,500円 A 1,500円(2歳以下は座席なしで無料)

青葉能公演「道成寺」
日時 平成17年11月5日(土)13時30分開演
入場料 S 8,000円 A 5,000円
B 3,000円(学生各券1,000円引き)

劇団わらび座 宮沢賢治没後70年記念「ミュージカル 銀河鉄道の夜」
日時 平成18年1月21日(土)15時開演
入場料 S 4,000円 A 3,000円(学生各券1,000円引き)

043(296)9211

千葉県からのお知らせ

犬・ねこの引取りについて

千葉県の犬・ねこの致死処分頭数は全国でも上位です。致死処分されてしまうのは、苦情により捕獲された犬や飼いきれなくなつて引取り依頼されて県へ収容された犬・ねこのうち、飼い主に返還され、あるいは新しい飼い主へ譲渡された以外の犬・ねこです。家族の一員である犬・ねこを、安易に引取り依頼するべきではありません。次のことを守って正しく飼いましょ。

犬・ねこを飼う前に、終生飼育することができると十分検討すること。犬には登録と狂犬病予防注射を実施し、首輪に鑑札と注射済票を着けること。犬の放し飼いをしないこと。しつけをすること。犬・ねこがいなくなつたら、すぐに探すこと。犬・ねこを捨てないこと。不妊・去勢手術を受けさせること。安易に飼養放棄せず、終生飼育すること。飼えなくなつたら、もらい手を探すこと。ねこは室内で飼うように努めよう。

現在の引取り方法では、飼い主が安易に引取りを求め、助長している面があることから、飼い主責任の自覚を高めて、引取り依頼頭数の減少を図るために、平成17年4月1日から引取り指定場所を県の施設のみとします。動物と社会に責任を持って、動物を飼いましょ。

【問合せ先】県動物愛護センター
0476(93)5711

愛鳥週間行事「探鳥会」参加者募集

5月10日(火)から16日(月)は、愛鳥週間です。県では、行徳野鳥保護区内の湿地を歩き、水辺の鳥を観察する「探鳥会」を開催します。自然

| 県提供のテレビ番組 | |
|--|---|
| 千葉テレビ(UHF) | |
| 「躍動ちば21」 県政運営にかかると重点施策などの紹介 毎週土曜日……………22時～22時15分 | 「ウィークリー千葉県」 1週間の県の動きを紹介 毎週月～金曜日…7時35分頃から3分間 |
| 「千葉県インフォメーション」 行事や募集などのお知らせ | |

の中で野鳥と親しんでみませんか。
日時 5月14日(土)10時～12時
13時30分～15時30分

会場 行徳野鳥観察舎(市川市福栄)
定員 各30人程度

【問合せ先】県自然保護課
043(223)2058

千葉都市モノレール会員募集

千葉都市モノレールが、営業距離世界一の懸垂型モノレールとしてギネスレコードに登録されたことを記念して、「世界最長懸垂式空中飛行鉄道倶楽部」を発足しました。
ファンを募集し、未永くサポートしていただける会員の皆さんを募集しています。

【問合せ先】千葉都市モノレール(株)運輸部業務課
043(280)8215
<http://homepage2.nifty.com/kentetsu/>

飲酒運転の追放

県内では、交通事故により多くの尊い命が失われています。その中には飲酒運転による事故も含まれ、昨年は6814人が飲酒運転で取締りを受けています。

そこで県警察では、悲惨な交通事故を減らすために、4月6日(水)から5月5日(木)までの間、飲酒運転取締り強化期間として、悪質・危険な飲酒運転の取締りを強化します。
飲酒運転で交通事故を起こし、危険運転致死傷罪が適用されると、死亡させた場合は1年以上20年以下の懲役、負傷させた場合は3年以下の懲役となります。また、酒酔い運転は3年以下の懲役又は50万円以下の罰金、酒気帯び運転は1年以下の懲役又は30万円以下の罰金、飲酒検知を拒否した場合は30万円以下の罰金となっており、厳しい罰則を受けることとなります。

この機会に、飲酒運転のもたらす悲劇についてご家族、職場等で話し合い、「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」を徹底しましょう。

【問合せ先】県警察本部交通指導課
043(227)9131

ペン・ノート

医師会会員の著書

「海辺医草」

梅園 忠著/中央公論事業出版 刊
定価/本体 1600円+税

本書は現役の内科医であり、かつ、千葉県医師会の中核で活躍されている梅園忠先生の著作である。

内容は、第一章・医師会病院の医療活動、第二章・問われる現代の医療状況、第三章・生命誕生と愛、第四章・愛と生きる喜びを、第五章・診療室の窓辺から、第六章・私の書棚から、の六章から成っており、サブタイトルに「地域医療と歩いた三十五年」とある通り、著者の医療人としての半生が綴られている。

この中、第一章・第一章でとり上げられている高齢化社会の地域医療及び医療問題、国民皆保険制度等については特に少子少産、若年者の労働力低下、あるいは混合診療の導入が危惧されている今日、ぜひ自分の問題としてお読み頂きたい項目である。

ところで、全篇通読してみても一寸気になったのは、医師以外の一般の読者にとっては少々難解な所があるのではないかというところである。しかし著者をよく知る者の一人としては、疑問点については遠慮なく著者にお聞きになることをおすすめする。先生はやさしく真面目な方だから、必ずお答え頂けるものと思うからである。

その先生のやさしさと真面目さについては、第三章、第四章をお読み下されば、理解できる筈である。「本文200ページ、上製本」

【評】川村 純(県医師会編集委員会前顧問)



読者プレゼント

水森亜土さんの表紙絵(第15号)を文字盤にした「ミレニウム」オリジナル目覚まし時計を5名様にブック・レビューでご紹介の梅園忠著「海辺医草」を5名様に

12ページに綴じ込みの「はがき」のアンケートにお答えください。応募者多数の場合は、抽選となります。なお、目覚まし時計は高さ約10センチ、乾電池(単3形)1本使用です。(応募締切りは平成17年4月末)

次号(第17号)は6月中旬の発行予定です。

ミレニウム 第16号
発行/社団法人 千葉県医師会
〒260-0026 千葉市中央区千葉港7-1
043(242)4271

「ミレニウム」定期購読ご希望の方へ
本誌は年間4回の発行です。定期購読を希望される方は、送料のみご負担ください。送料は年間560円で、郵便切手(140円×4枚)を同封のうえ県医師会広報課へお申込みください。(住所は左記)